

小出繁 （齋） 歌人。天保四年八月二十八日江戸生れ、明治四十一年四月十五日歿（八三—一九八）。携妹松田、幼名新四郎、通稱鎮平。號二小庵、如雲、梳園、赤松庵、筆名くちなし園のありしうはら、うはら、ふちはらのうはら、小出のうはら、小出梳園、梳園繁等。和歌を瀬戸久敬小集ふ。明治八年太政官出任、十年宮内省文學御用掛、二十一年年御歌所勤務、二十五年同寄人。

著書『あそぎぬ』（内題「旅中日記麻衣」明治十五年）二月梳園藏梓、吉川

半七發行）、『浦の藻屑』（明治十六年）二月十五日麻遊舎藏梓、菅野

與立齋出版）、『菊廬下集』（編、明治十九年七月）二月京都・向陽社

藏版）、『みくろまのあと』（明治二十四年）二月皇右宮職印行）、『評

あそぎぬ』（間島冬道評、明治二十五年六月）二十九日梳園藏梓、しき

くま發行所發賣）、『くちなしの花』全二冊（明治二十七年）二月二十

一日梳園社藏、京都・文石堂）、遠山英一編『五千四巻歌合』（うは

ら名、判詞、明治二十八年一月十五日志きくま發行所）、『くちなし

の花續編』全二冊（明治二十一年二月十七日愛知・梳園社）、『飛騨

の山ふみ』（明治二十四年十一月一日石原米刊、吉川半七發賣）、『く

ちなしの花後編』附梳園存稿』

全二冊（明治二十五年）二月十五

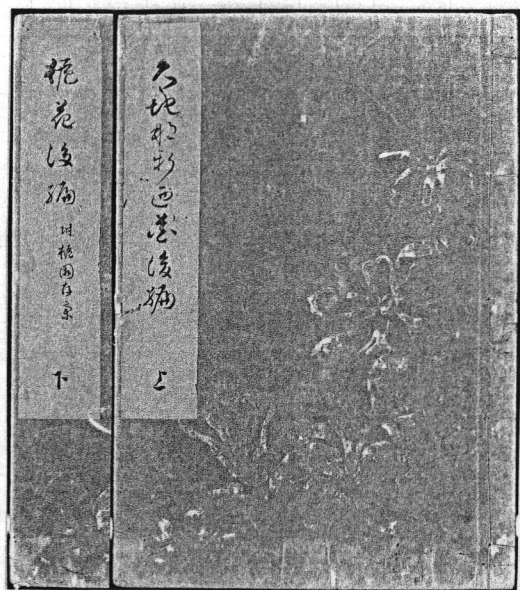
日梳園社）、遺稿『梳花拾遺』

全二冊（明治四十一年六月）二月

梳園藏版）、『小出繁翁家集』

（中川恭次郎編、明治四十一年

七月）二十七日歌學書院）、『明



治八歌仙  
（合纂・大町五城編、大正二年四月一日大日本歌道奨励會）等。